

## 地域再省蓄エネサービスイノベーション促進検討会 設置趣旨

### 1. 背景・目的

環境省では、消費者・企業・自治体が主役となって、地域の再エネ活用を、省エネ蓄エネとあわせて加速化・最大化することで、再エネを我が国の主力エネルギー源へと押し上げながら、地域の社会経済課題を解決していくことができるとの認識のもと、こうした地域の取組を促進するために環境省が実行する当面の主要な施策アクションや参考事例集などを整理した「環境省 再エネ加速化・最大化プログラム 2018」（以下、再エネプログラム）を、本年3月にとりまとめ、発表した。

プログラムでは、消費者・企業・自治体など様々な主体が再エネに取り組む具体的な機会や取組によってもたらされるメリット、参考となる先行事例、取組に役立つ環境省の個別政策の概要をとりまとめている。

本検討会は、本プログラムの内容や実施状況等について、再省蓄エネを実践する自治体や地域エネルギー事業者等からのヒアリングも行いつつ、最新の技術・取組動向が反映できているか、環境省の政策が現場のニーズに合致しているか、ユーザー目線で使いやすく読みやすいものになっているかなどの観点からレビューし、今後の施策の方向性について検討するもの。

### 2. 検討の進め方・スケジュール

- 「PostFIT 社会を想定した再エネ開発・活用」などのテーマを設定し、実際に再省蓄エネを実践する自治体や地域エネルギー事業者、SBT・RE100 企業、大手エネルギー事業者、投資家、金融機関等を委員会に招聘して意見交換をする「集中ヒアリング」を実施する。
- 委員のご意見・ヒアリング結果をふまえて今後の施策の方向性をとりまとめる。

#### 今後の進め方（予定）

	時期	内容
第1回	8月7日	趣旨説明、キックオフ
第2回～第5回	9月～12月	集中ヒアリング4回程度
第6回	1月～3月	プログラムのレビュー・施策の方向性の討議・とりまとめ

### 3. 公開等

自由闊達に意見交換を行うため、議事は非公開とする。  
開催日時や資料(公開可能なもののみ)、議事概要は公開する。

以上